



宮原中学校だより 第11号

宮中のシンボル「フェニックス」

令和4年3月1日

フェニックス

PHOENIX

学校教育目標「夢を志に～未来を拓く力の育成～」



呉市立宮原中学校

〒737-0015 呉市船見町1-1

TEL.0823-21-1468 fax0823-24-9814

E-mail miyc@kure-city.jp

http://www.kure-city.jp/~miyc/

「カラー版」は学校HPで!



「夢を志に」3年生が卒業します

～コロナ禍でも伝統を受け継ぎ、新たな宮原中を創り出す～



令和4年3月12日(土)に、いよいよ3年生がこの宮原中学校を巣立ちます。

新型コロナウイルス感染症(令和2年3月～)のために世界中が激変し学校も長期の臨時休業になるなど、だれもが予測できない経験ばかりでした。そのまっただ中で過ごした中学校生活でした。その中で、3年生の皆さんは、今置かれた現状を受け入れ、何ができるかを柔軟に模索し、挑戦をしてきました。「夢を志に」その若いエネルギーは、地域の元気の源でした。

さあ、宮中3年生、次のステージへ出発だ!

3年間の歩み

なんとかできた! 体育大会



念願の体育大会では、チームの人たちと協力し、とても楽しく終えることができました。(3年)



コロナ禍で様々な行事がなくなった中で、宮島に行けたことが、とても良い思い出です。(3年)



さすが3年 文化発表会



3年生の時「立派に成長したね」 時事「東京五輪オリンピック・冬季北京オリンピック開催 日本選手活躍」



分散登校始まる。消毒液も各教室に。



立志式

立志式



明るい2年生♡

2年生の時「コロナ禍で柔軟に生きた」 時事「新型コロナ感染拡大緊急事態宣言 自粛生活が続く…」



入学式



学級開き、いよいよスタート!



楽しい♡日本遺産めぐり

1年生の時「ういういしい僕たち私たち 中学生になったよ～」 時事「平成から令和の時代(5月1日)へ」

生徒会の取組 (SDGs)

カンボジアの学校に文房具を寄附

生徒会執行部のSDGsの取組として、カンボジアの学校に「文房具」を送るプロジェクトを行いました。このプロジェクトは、10月末に旧生徒会が企画した講話「カンボジアの地雷撤去で社会貢献」(地雷撤去専門家の大本俊志さん)を受けて、生徒会として何か国際貢献できないかと企画したものです。

各学年に協力してもらい、使用していない文房具(ノート、鉛筆、消しゴムなど)を集めました。(写真1)

2月10日(木)の放課後、旧生徒会執行部で集まった文房具を大本さんにお渡ししました。(写真2)

この文房具は、船便でカンボジアに運ばれ、車で6時間ほどのタイとの国境近くにあるプノムレイ小学校※(全校児童約40人)に寄贈されます。

皆さんが協力した文房具、ぜひ現地の小学生に使ってほしいですね。カンボジアの子どもたちの笑顔が目に見えます。※プノム(山)レイ(セミ)という意味の学校名



写真1



- ・鉛筆約200本
- ・消しゴム10個
- ・ノート20冊
- ・その他

写真2

なぜ、この小学校に決まったのかというと、大本さんが地雷撤去作業をしていた時の現地の友人の母校で、学校にも文房具がなく苦勞していたため、支援活動をされているからだそうです。

宮中生の思い 中国新聞の「ヤングスポット」に掲載!

今年度、本校生徒2名の投稿が、中国新聞の広場欄「ヤングスポット」に掲載されましたので紹介します。宮中生は、コロナ禍ですが、優しい心と強い志を抱き頑張っています。



「祖母との思い出胸に」 青木沙樹(3年生)

令和3年6月2日(水) 中国新聞朝刊掲載

大好きな祖母がなくなりました。2週間ほどベットに寝たきりになっていました。家が隣ということもあり、毎日たくさん話をしました。いつも笑顔で優しくかったです。毎朝学校に行く時は「行ってらっしゃい」と手を振ってくれました。私は料理が上手な祖母とキッチンで並び会話をしながら楽しく料理をしました。夏は特製のゴーヤジュース、家族が集まる時には岩国寿司、お正月には一緒におせちを作りました。元気づけるため、たくさんの約束を交わしました。去年は新型コロナウイルスのため一緒におせちを作れなかったため、今年はぜひ作ろうと計画を立てました。また、私の体育大会や吹奏楽部の発表、卒業式に来てもらうようにしていました。

約束はかなわず祖母のいない生活はとてもさみしいです。でも、必ず近くで見守ってくれていると信じています。たくさんのお思い出を忘れず、教えてもらったことを胸に頑張ります。15年間ありがとう。

「強くなれると信じて」 仲田飛翔(1年生)

令和4年1月1日(土) 中国新聞朝刊掲載

僕が今頑張っているスポーツはバスケットボールです。父や姉、兄がやっていたこともあり、自分もやりたいと思い、小学1年生から始めました。最初の頃は、ドリブルが思うようにできなかったり、シュートがなかなか入らなかったり、ルール通りに動けなかったり、うまくいかないことがたくさんありました。でもこれまで続けられた理由は、やはりバスケが大好きだからです。いつも仲間と一緒にできるし、良いところを発見でき、自分も見習おうと思えます。

今のチームは1年生ばかりなので、他の学校と比べると心細い部分もあります。でも自分にとっては、そんなに大したことではありません。チームが好きだし、もっと強くなれると信じています。

一生懸命トレーニングをして、これからも仲間を大切に、バスケを続けていきたいです。



【編集後記】おもわず笑顔になる瞬間!

宮中生のヤングスポットを読むと、卒業する3年生も本校の中心となる1年生も頼もしい限りで、私たちが元気になります!もうすぐ春です。さあ、私たちが新たな一歩を踏み出しましょう!